

留 学 報 告 書

留学先国	香港
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 香港城市大学 (英) City University of Hong Kong
留学期間	2024年1月~2024年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2024年4月27日
明治大学卒業予定年月	2026年3月

留学費用項目	現地通貨 (HKD)	円	備考
授業料			協定留学なので明治大学への学費は支払っていません
宿舍費	10,500HKD	210,000円	電気代水道代すべて込み
食費	7,500HKD	150,000円	
図書費			
学用品費			
教養娯楽費	2,500HKD	50,000円	
被服費	750HKD	15,000円	
医療費			
保険費	19,722HKD	39,445円	明治大学推奨の保険に加入
渡航旅費	5,367 HKD	107,340円	
雑費			
その他(通信費)	279HKD	5,580円	1年108GBのesimを購入
その他()			
その他()			
合計	28,868HKD	577,360円	1 HKD = 20 JPY

渡航関連

渡航経路	日本→香港、香港→日本		
渡航費用	チケットの種類	エコノミー	
	往路	53,000	
	復路	54,340	
	合計	107,340	
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。			
JALで往復の航空券を購入しました。			

滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
留学先の大学の寮	
部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：2人）
住居を探した方法	
交換プログラムに出願後、香港城市大学のオンラインシステムで寮を申し込みました。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
部屋は少し狭かったですが、20万円前後という香港では破格の価格で、電気水道やキッチンが自由に使えたのでとても便利に暮らしました。また、寮が大学に付属しているため、授業へもすぐに行けてすごく便利でした。寮の学生の団体が主催しているイベントなどもあって楽しく暮らしました。	

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した：
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
私は利用しませんでした。学生相談窓口などがあったと思います。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
基本的に治安が良かったので、特にチェックしませんでした。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？
学校だけでなく、町の多いところに wifi 環境が整っており快適でした。大学、寮の wifi の接続はとても良かったです。
現地での資金調達はどのように行いましたか？
日本で事前に換金した香港ドル（10万円分くらい）と日本円（5万円くらい）を現金で持って行きました。支払いは基本的にクレジットカードで行い、香港ドルの現金が足りなくなった際には、現地の ATM でキャッシングを引き出しました。大学にも街中にも ATM がたくさんあり安心でした。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
ケープなどの整髪剤、コンソメなどの日本固有の調味料

進路について

進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：

学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数）
15 単位（5 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 15 単位（5 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Media, Communication, and Public Opinion
履修した授業科目名(日本語)	メディア、コミュニケーションと世論
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	SemesterB
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Dr. ZHOU Shuhua, Chair Professor
授業内容	民主主義における世論の概念とその役割、マスメディアと世論形成の関係性について考える。
試験・課題など	中間テスト、期末テスト、個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーション、グループレポート
感想を自由記入	先生がアメリカなど様々な国でメディアに関わる仕事の経験があり、その経験談をたくさん話してくれたため、メディアと人々の関わりについて様々な視点からの考えを得ることができて興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Love, Sex, and Relationships : Psychological
履修した授業科目名(日本語)	心理的観点から見る恋愛、セックス、人間関係について
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	SemesterB
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Dr. Julian LAI
授業内容	愛の種類や愛の形、パートナーとの関係の在り方などについて心理的観点からや様々な国の例を挙げて考えていく授業。
試験・課題など	中間テスト、期末テスト、グループレポート
感想を自由記入	愛やパートナー、結婚についての様々な考え方に触れ、より考えを柔軟に持つことができるようになった。パートナーの関係について日本では話すことがタブーとされているような深いところまで解説があり、とても面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Sexality, Culture and Diversity
履修した授業科目名(日本語)	セクシャリティ、文化、多様性
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences
履修期間	Semester B
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態(チュートリアル、講義形式等)	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	KWOK Kim
授業内容	文化的・歴史的な文脈におけるセックスとセクシュアリティの意味を講義形式と性的マイノリティの方の実際のお話を聞く講演形式で学ぶ授業。
試験・課題など	個人レポート、グループプレゼンテーション、グループレポート
感想を自由記入	留学生が多い授業だったので、国や地域によってセクシュアリティなどに対する考え方は様々な文化の違いに触れられて面白かった。また、実際に性的マイノリティの方やセックスワーカー経験者の方が授業に来て自身の経験を話す講演会のようなものもあり、当事者の目線からセクシュアリティについての話を聞き考える貴重な機会が得られてとても良かった。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	English linguistics - Communicative Function of Grammar
履修した授業科目名(日本語)	コミュニケーション機能と文法からみる言語学
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Linguistics and Translation
履修期間	Semester B
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態(チュートリアル、講義形式等)	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Prof. Meichun Liu
授業内容	英語について文法や発音など様々な観点から考えて、英文法のコミュニケーション機能を探求していく授業。
試験・課題など	オンライン期末テスト、毎授業出すグループレポート、中間課題二つ、グループミニプレゼン
感想を自由記入	日本でも言語学をとったことがあり、日本語と英語で言語は違うが言語学という観点から見ると違うところもちろん共通するところも多くあり、比較して言語について考えていくことができ面白かった。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Health care Policy and Ethics
履修した授業科目名(日本語)	ヘルスケア政策と倫理
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences

	Department of Public and International Affairs
履修期間	SemsterB
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof Ruiping FAN
授業内容	香港の医療政策の現状について。 医療について倫理的な面から考えていく。
試験・課題など	テスト（オンライン）、グループプレゼンテーション、グループレポート、個人レポート
感想を自由記入	私は、グループプレゼンテーションでも個人レポートでも安楽死というテーマで行ったため、安楽死について授業も含めてたくさん調べて学び考えたことで、安楽死についてより理解を深めることができました。医療系について興味があったが、なかなか学ぶ機会がなかったので今回学べて良かった。

留学に関するタイムチャート

2023 年 1月～3月	留学を考え始める。
4月～7月	5月→学部間留学に応募する 6月→学部間留学校内選考の面接 7月→校内で留学が内定する
8月～9月	9月→JASSO 奨学金申し込み 10月→留学先への出願申し込み 留学先の学生寮の申し込み
10月～12月	11月→留学先への手続き、 留学先からの入学許可通知が来る、ビザの手続き 12月→ビザの発行、航空券購入
2024 年 1月～3月	1月→渡航、留学先での授業開始 明治大学秋学期の授業の期末テストをレポートなどに代替してもらっていたので、その課題も1月は並行して行っていました。 2月→中間テスト
4月～7月	4月→期末テスト、グループプレゼンテーション、 4月後半帰国

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>明治大学が主催している春休みに行われた英語集中講座に参加し、そこで英語での生活を体験したことで、自分の英語力の足りなさや英語を話すことが英語力向上のためにすごく重要であると感じ、また、その講座で留学の実体験の話を聞いたことでより興味がわいたからです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学のためには主に英語学習の準備と事前に渡航のための準備を行いました。英語については、明治大学と提携していて少し安く受講できるレアジョブ英会話に三か月ほど入会し、英語のスピーキング能力を少しでも向上させられるように頑張りました。ただ、留学先での他の留学生の英語の能力は思ったよりも高く、もっと前もって英語学習に力を入れておけばよかったなと思っています。また、渡航のための準備については、esim を事前に買ったり、香港ドルに事前に両替を行ったり、香港についてからの移動について調べたりなどを行いました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>途中まで大学間協定留学を考えていましたが、TOFEL の点数が足りず、今持っている toeic の点数で行くことができる学部間協定留学を考え始めました。タイ、ベトナム、香港の三カ国で迷いましたが、香港城市大学が一番ホームページを見てグローバル教育に力を入れていると感じ、また気候や治安についても住みやすそうであったので香港を選びました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>香港城市大学の学生はフレンドリーで本当に優しい人が多く、授業中にわからないことや困ったことがあってもたくさん助けてくれました。また、半分くらいの学生が留学生で構成されている大学なので、国際色豊かで、明るい雰囲気の大学でした。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>寮にも様々な国出身の学生が住んでいました。頻りに学生が交流できる機会が設けられていて、たくさんの人との交流ができたと思います。寮には、部屋以外にも共有ルームなどもあり、そこでも多くの学生と楽しく話せて、友達を作るには最適な環境でした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>授業やイベントなどで人とかかわる機会がとても多かったので、そのような機会を無駄にしないように積極的にたくさんの人に話しかけました。様々なところから来ていて、異なったコミュニティに属するような友達とたくさん話をして、驚くようなことも、学ばせられることも多かったです。友達を作る機会はたくさんあり、楽しく大学生活を送れました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は、社会学的な授業を主にとっていました。授業の中では、講義だけでなく、ゲストスピーカーを招いてお話を聞く機会や、グループディスカッション、グループプレゼンテーションの機会も多くあり、学生同士で沢山の意見交換を行いました。何か学問的なことに対して、自分の意見を述べる機会は今まであまりなかったので、初めはうまく言えず困惑してしまいましたが、次第に自分の意見を持ちそれを言語化できるようになり、成長を感じました。</p>

課題・試験について	わたしが履修していた授業では、中間、期末テストのみならず、個人やグループプレゼンテーションもあり、準備が大変でした。グループプレゼンテーションでは、授業時間外もグループメンバーと話し合う時間を作り、お互いに意見を出し合ったり、アドバイスをしながらより良いものを完成させることができ、終わった時はすごく達成感を感じました。
大学外の活動について	バレーボールのゲームや練習会に参加していました。スポーツを通じて仲が深まるのはどこにいても変わらないことなのだなと実感しました。
ある平日のスケジュール	<p>8時半 起床、準備</p> <p>9～12時 授業</p> <p>12～13時 昼食</p> <p>13～16時 図書館で課題をする</p> <p>16～19時 授業</p> <p>20時 学内のイベントに参加する</p> <p>21時 夕食</p> <p>22時～ 自由時間</p> <p>2時 就寝</p>
ある休日のスケジュール	<p>10時 起床</p> <p>12時～ 友達とお昼ご飯を食べに行く</p> <p>14時～16時 お散歩、お買い物</p> <p>18時～ 寮に帰ってお菓子パーティとおしゃべり</p> <p>22時 自由時間</p> <p>2時 就寝</p>
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	自分の留学がどのようなものになるかは完全に自分次第であると思うので、積極的に動いていくことがとても大切だと思います。時には家族や友達、恋人、日本食が恋しくて堪らなくなり悲しくなることもあると思いますが、乗り越えた先には必ず何か成長があると思うので、自分に負けず頑張ってください。

MEIJI NOW
メイジノウ

明大生のための情報サイト
MEIJI NOW でも記事を公開中！

【世界で学ぶ！】「香港城市大学で多くの留学生と
国際交流を図り視野を広げる」

ぜひ読んでみてください！



友人と食べに行った点心



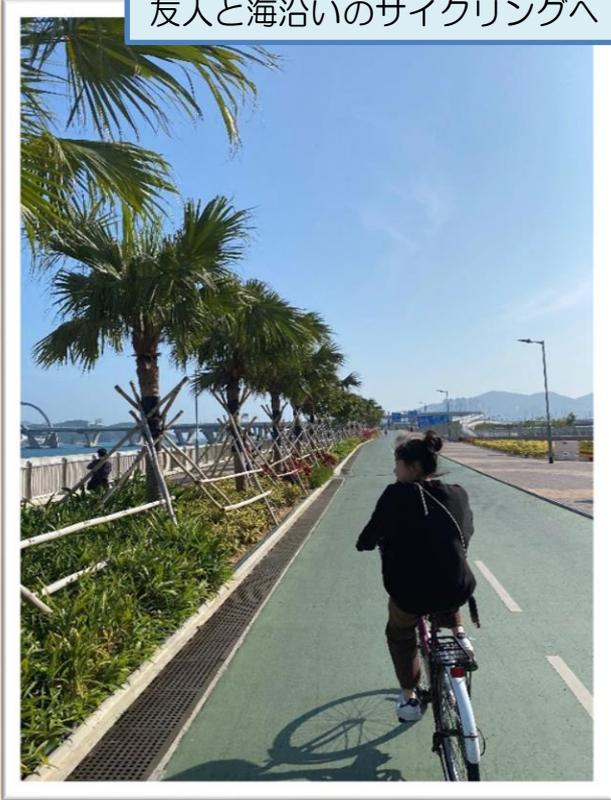
香港到着初日の大学の案内ブースにて



春節に行った香港の伝統的なお寺



友人と海沿いのサイクリングへ



大学の春節イベントに参加



大学の台湾イベントでの写真

